

“カスタマー・ファースト”を基本方針に掲げ、 常にお客様視点で物事を考えてまいります

「経営の質を向上させ持続的成長を目指す」ことを2018年3月期までの中期3ヵ年計画のテーマに掲げ、①当社の強みを最大限発揮、②店舗および本部の生産性向上、③働き甲斐のある職場づくりの3つを経営課題の軸として取り組んでまいりました。

商品面においては、当社の強みとする生鮮食品の強化に取り組み、特に農産部門では地場野菜コーナーやカットフルーツコーナーの拡大、デリカ部門では連結子会社のサンデイリー株式会社の米飯工場を活用することで品揃えの強化を図り、米飯類のお客様支持向上に取り組みました。また消費者ニーズに対応して簡便化・健康・おつまみなどをテーマにした品揃えを充実させてまいりました。

販売面では、自社ポイントカード「グラッチェカード」を活用した商圈分析と商圈特性にあわせた品揃えの改善を進めるとともに、お客様の精算時の利便性を高めるため電子マネー機能を備えた「グラッチェプラスカード」に2016年11月より順次切り替えを実施いたしております。また宅配サービスについては同年11月より小田井店(名古屋市西区)

でも開始し、2017年3月20日現在9店舗で展開しております。店舗面では、生産性向上に向けて、基本作業の徹底・教育による作業効率の改善に取り組むとともに、IT化・機械化による発注業務の効率化やセルフレジの導入を進めながら、店内作業の軽減を図ってまいりました。

2016年11月には、小田井店(名古屋市西区)を建て替えによりリニューアルオープンし、300坪スタイルの地域に密着したスーパーマーケットの確立を目指しております。また、同年5月にザ・チャレンジハウス味美(愛知県春日井市)、10月にザ・チャレンジハウス三郷(愛知県尾張旭市)、ザ・チャレンジハウス共栄(愛知県瀬戸市)をエブリデー・ロー・プライス業態から品揃えやサービスを充実させたレギュラー業態へ変更するとともに、既存店活性化策として二川店(愛知県豊橋市)など4店舗について改装を実施いたしました。改装店では、外気の影響を受けにくい前面に扉のついたリーチイン冷凍ショーケースの導入や店舗の冷蔵ケース照明のLED化により、消費電力の削減に取り組んでまいりました。このような環境活動のみならず、地域のお客様と食を通じた食育活動や、パートナー(パートタイマー)を含めた従業員にとって働き甲斐のある職場づくりのため、働き方改革として年間総労働時間の短縮に取り組むとともに、女性や若手社員の人材登用や教育研修制度の充実を進めてまいります。今後も社会貢献活動を積極的に行うとともに、“カスタマー・ファースト”の実現のため取り組んでまいります。ヤマナカの方針と取り組みをご理解いただき、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



株式会社ヤマナカ
代表取締役社長

甲野義久

